



優勝した第1分団



小沢消防団長挨拶

(4) **新政あいち** 県政報告令和4年6月定例議会
2022.7.21号

■稲沢市消防操法大会開催

3年ぶりに第18回となる稲沢市消防操法大会が晴天のなか開催されました。4月から仕事から帰られた夜間に訓練に励み大会を迎えた各分団に敬意と感謝を表します。優勝は地元、稲沢市民センター地区の第1分団、準優勝は千代田市民センター地区の第5分団、3位は下津市民センター地区の第3分団、各分団・消防本部はじめ関係者の皆様お疲れ様でした。第1分団は8月6日に開催される県大会(常滑市)に出場します。



■稲沢商工会議所インボイスセミナー

稲沢商工会議所(池戸賢治会長・池戸製作所)で事業環境変化対応型支援事業として**早期解決!!インボイスセミナー&相談会**が小崎努税理士事務所所長を講師に開催されました。インボイス制度は来年の令和5年10月1日から始まりますが、届出はその前の令和5年3月末までとなる点、免税事業者(納税義務者になるべきかの判断)、簡易課税、本則課税の適格請求書の扱いなど分かりやすく講義頂きました。終了後に阿部事務局長にお話を伺いましたがインボイスの認知度が低いので今後も取組みたいとのことでした。

■稲沢市老人クラブ連合会総会

3年ぶりとなる総会では柿沼会長などからコロナに対応した事業の推進や会員増強、福祉向上、地域貢献などを通じて健康で人生100年を目指しましょうと力強いご挨拶のほか、ねんりん君に交通安全大使を委嘱、交通安全旗は祖父江から平和へ鷺野稲沢警察署長を介して伝達され功労の方が顕彰されました。



■一宮西港道路推進協議会通常総会

産業と命を守る一宮西港道路(東海北陸自動車道の南伸)は協議会等の要望を受け3月に中部地方整備局が新たに概略ルート・構造の検討に盛り込み4月には重要物流道路に指定されました。会長は加藤稲沢市長から先日3期目の当選をされた日比津島市長にバトンタッチされました。

(東海北陸自動車道)

一宮JCT
一宮稲沢北IC

鍋田JCT
(伊勢湾岸自動車道)

稲沢、津島両市をはじめ一宮市、愛西市、弥富市、あま市、大治町、蟹江町、飛鳥村の6市2町1村に名古屋港管理組合も役員に名前を連ねるビックプロジェクトは1km100億円とも言われる高規格道路、30kmで3千億円、軟弱地盤などでは4千~5千億円とも言われています。



STEP21

鈴木純事務所 稲沢市稲島10-82

TEL 24-6600 FAX 23-0791

●稲沢LC防犯カメラ寄贈

稲沢ライオンズクラブのメインアクトでJR稲沢駅東側ロータリーで加藤稲沢市長、鷺野稲沢警察署長をお招きして防犯カメラ贈呈式を行い、エントリオを見学しました。



●稲沢市観光協会総会

昨年会長に就任した川合氏が初めてご挨拶され、鈴木からはコロナ禍での取組に感謝し、ジブリパークの開園・市町村フェアの開催や大河ドラマどうする家康など観光の活性化にご尽力頂くようお願いしました。



●稲沢市青少年健全育成市民大会

笑顔であいさつ家族と地域の絆と題した3年ぶりの大会で少年の検挙・補導等に触れながら豊かな人間性や社会性を持った子ども達の健全育成へお願いと感謝の挨拶をしました。事例発表は稲中の澤田さんと杏和高の栗栖さんです。(主管:稲沢市青少年愛護センター指導員会)



●祝！稲沢青年会議所(JC)創立50周年



愛知県議会報告

新政あいち県議団

愛知県議会報告は新政あいち県議団及び議員に交付されている政務活動費を充当して作成・配布しています。県政へのご意見をお寄せください。

安倍元総理 7月8日 凶弾に倒れる

7月4日に閉会した愛知県議会6月定例会は、明治用水頭首工大規模漏水対応や燃油価格高騰・物価高騰等への支援など政府の緊急対策を受けたウクライナ難民への支援を含むコロナ関係、コロナ関連以外ではSTATION Ai Central Japan1号ファンド出資金、ヤングケアラーとその家族の支援充実のためのモデル事業、技能五輪全国大会・全国アビリンピックの2023年11月開催決定を受けた大会PR事業、愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会(仮称)負担金など計4件の一般会計補正予算170.77億円(内コロナ関連154億円、今年度合計2,259億円、累計1兆3,310億円)、第5回アジアパラ競技大会の開催決定に伴う基金条例の一部改正等条例関係12件、設楽ダム建設に関する基本計画の変更等その他の議案10件、諮問1件が提出されすべて可決・同意・適当と認めました。



連合愛知尾張南地域協議会結成30周年感謝のつどいがコロナ禍のため1年越しで実施されました。鈴木は政策推進議員として星野、木全、岡野の各稲沢市議の皆さんと参加し議員を代表し国政の混乱の中、地方議員の政策集団である**新政あいち**を連合愛知のご支援のもと設立し党派を超えて地方議員が結束できていることへの感謝など祝辞を述べさせて頂きました。

参議院選最終盤に安倍晋三元総理大臣が凶弾に倒れ落命されました。SNSの第一報はフェイクと思うほどの衝撃でした。歴代最長、通算3,188日、連続2,822日在任の総理は世界のリーダーとして日本のプレゼンスを高め、デフレ脱却、パンデミック対応と心血を注いで重責を果たされました。選挙戦での蛮行は許し難く残念でなりません。ご功績に感謝と敬意を表し衷心よりご冥福をお祈りしました。



参議院選挙自民大勝・維新増

愛知県選挙区は立憲・国民堅持

第二十六回参議院通常選挙七月十日執行は、自民が改選過半数を上回る六十三議席、維新は倍増の十二議席となり、自公で過半数、改憲勢力(自公維新等)も2/3以上を維持しました。民主王国と云われる(た)愛知県選挙区では斉藤氏(立民・伊藤氏(国民)が議席を死守し藤川氏(自民)、里見氏(公明)と共に現職4人が当選、投票率は52.18%と五割へは回復しました。鈴木は選挙応援を通じて二院制の意義(GHQ草案は一院制)など改革の必要性を述べさせて頂きましたが少なくとも良識の府としての議論を期待します。**未来へつづ**くまっけいへ一生懸命働きます。

愛知県議会議員
(稲沢市選出)

すずき純



写真右上はこの秋11月1日にオープンするジブリパークの象徴となる青春の丘エリアへの玄関、エレベーター塔(一部養生中)です。

■常任委員会は警察委員会(理事)

今年度所属する警察委員会が初めて開かれ、小笠原公安委員会委員長並びに國枝警察本部長から挨拶を頂き、増田総務部長以下執行部の皆さんから事務事業の説明を受けました。公安委員会のもと総務部、刑務部、生活安全部、地域部、刑事部、交通部、警備部の7部、1局、56課等に加え名古屋市警備部、警察学校、45警察署の組織で「安心」して暮らせる「安全」な愛知の確立を基本目標に、暴力団の壊滅、交通死亡事故の抑止～減少傾向の定着～、県民生活を脅かす犯罪への対処を最重要課題として取り組んでいます。

■古本副知事表敬訪問

新政あいち県議団中小企業振興政策推進議員連盟の会長として森井会長代行、朝倉事務局長と4月1日に就任された古本伸一郎筆頭副知事(事務分担:経済産業局、労働局、観光コンベンション局、農業水産局、農林基盤局)をお訪ねし中小企業議連の設立趣旨や取組について報告し、副知事からは事業承継や事業転換など示唆に富んだお話を伺いました。右写真左上の絵画は桑原幹根元知事のご長男で画家の桑原正昭氏の作品「コンカルノ」という港の風景を描いたものです。

■食育推進全国大会 in あいち

第17回食育推進全国大会 in あいちが AICHI SKY EXPO で開催されました。2020年に開催する計画がコロナにより叶いませんでしたが SHIN 化する「いきいき食育」あいちから～健康な体、豊かな心、環境に優しい暮らし～をキャッチに今回リベンジ開催をしました。大会アンバサダーに就任した**チコちゃんと一緒に食育を学ぼう!**など会場は賑わっていました。稲沢の京風料理とし田さんには愛知三味会会長として出展して頂いていました。

■STATION Ai プロジェクト

愛知県は2018年に策定した **Aichi-Startup 戦略**の中核となる **STATION Ai プロジェクト**を推進し、スタートアップの創出・育成・展開・誘致を図る**スタートアップ中核支援拠点 STATION Ai**の整備・運営をソフトバンク(株)が設立した STATION Ai(株)を中心に推進しています。

県が2億円の出資(6月定例会一般会計補正予算)をする **STATION Ai Central Japan 1号ファンド**は STATION Ai(株)とソフトバンク(株)の100%子会社の(株) ディープコアが**プレシード(アイデア段階)/シード(創業期)/シリーズ A(事業化初期)**を投資ステージとしたファンド規模10億円程度、存続期間10年(2031年度まで延長最大2年)、投資期間5年(2027年度初期まで)で資金調達環境の充実を図り県内のスタートアップの成長支援や愛知県へのスタートアップの誘引を促進するものです。



■愛知県競馬組合議会



愛知県競馬組合議会が移転後の新しい議場で初めて開会し**鈴木は議長に選出**頂きました。どんこ競馬として73年間の長きに亘り名古屋市港区で親しまれてきた名古屋競馬場(金シャチけいば NAGOYA)は本年4月にトレーニングセンターのある弥富市に移転し、レガシーを引継ぎながら新たなスタートを切りました。

議決機関として名古屋競馬場を所管する競馬組合議会は愛知県議会8名(新政あいちは福田・桜井議員と計3名)、名古屋市議会8名、豊明市議会2名の定数18名により構成されています(議長鈴木(新政あいち)、副議長に木下優名古屋市議(公明)、監査委員に山本浩史県議(自民))。執行機関は管理者に大村愛知県知事、副管理者に古本愛知県副知事、松雄名古屋市副市長、小浮豊明市長が当たり元県職の井上専任副管理者のもと地方競馬の実施に関する事務と名古屋競馬場の設置及び管理に関する事務を行っています。コンパクトな議場(会議室)では議長の右隣に副議長、左隣に管理者、その後ろに副管理者等の配席となっています。

■新政あいち・連合愛知合同政策研修会



■連合愛知尾張南地協国政研修会 & 地協合同政策推進フォーラム



連合愛知尾張南地協(後藤代表・豊田合成労組委員長)と同西地協(山口代表・東海理化労組委員長)合同の政策推進フォーラムが開催され、ICT教育、公契約条例、教育環境の整備・充実、生活困窮者の支援等について市町の実践等議論しました。



令和3年度の競馬事業の概要は競馬開催27回113日、名古屋競馬での売上額は約636億円(内ネット577億円)です。令和4年度は旧競馬場の取り壊し工事や新場外発売所の建設工事等も含め予算総額は580億2,403万7千円(対前年比92.0%)です。また、平成5年以来29年振りに収益金の配分(県17/28名市7/28豊明市4/28、県の一般会計へは約2億円の繰り入れ)を行う予定です。



斎藤嘉隆参議院議員と伊藤孝恵参議院議員を講師にお迎えし合同研修会を実施しました。鈴木は新政あいち総務会長として司会進行をさせて頂きました。斎藤議員からは専門の教育関係やお願いしたCN(カーボンニュートラル)等を、伊藤議員からは孤独孤立対策やヤングケアラー等について熱く語って頂きました。また、ウクライナ支援の募金活動を行い新政あいち塚本代表から連合愛知可知会長へ贈呈させて頂きました。



連合愛知尾張南地域協議会の国政研修会に星野・岡野稲沢市議と参加しました。参議院国土交通委員長を務める斉藤よしとか参議院議員からは西尾張・海部地域の一宮西港道路の概略ルートなどの検討状況についても伺ったほか、大塚参議院議員はじめ意見交換させて頂きました。

ウクライナ支援はその歴史的、地理的、文化的な視点等からフォルト・ライン(断層線)と呼ばれる意味、武力攻撃事態法は回避、排除、存立危機事態の排除・終結など、カーボンニュートラルを”利用”したEUの自動車への厳しい規制に対処する日本・ものづくりの愛知としての技術支援の在り方や必要性、消費者としての若い世代の可処分所得の向上、通学の安全対策など現状や今後の取組を伺いました。

